

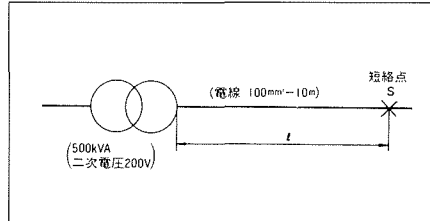
三相回路に対する早見表●

該当する変圧器容量と二次電圧の早見表を用い、電線の太さと短絡点までの距離(l)により推定短絡電流対称値が簡単に求められます。

■早見表作成上の条件

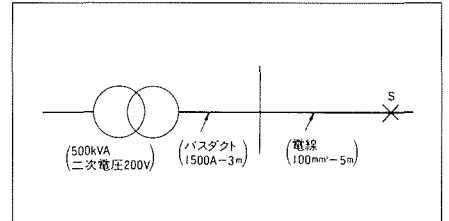
- ①変圧器は付表1の標準変圧器とし、電源総合インピーダンス付表4を採用。
- ②バスダクトのインピーダンスは付表7(50Hzの場合)を採用。
- ③電線のインピーダンスは付表8(50Hzの場合)のうちICケーブル金属パイプ配線を採用。

(例1)



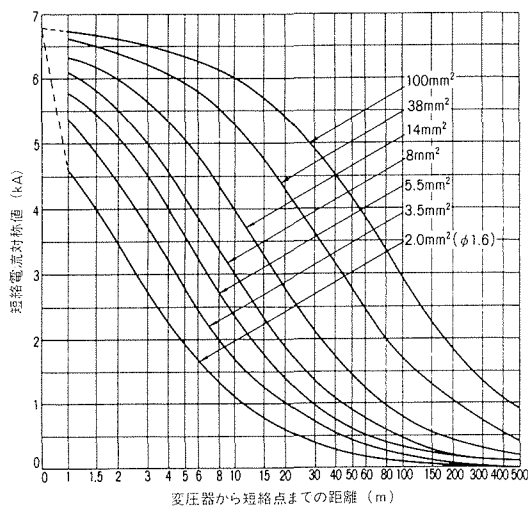
●付図14を使い、短絡電流は23kAとなります。

(例2)

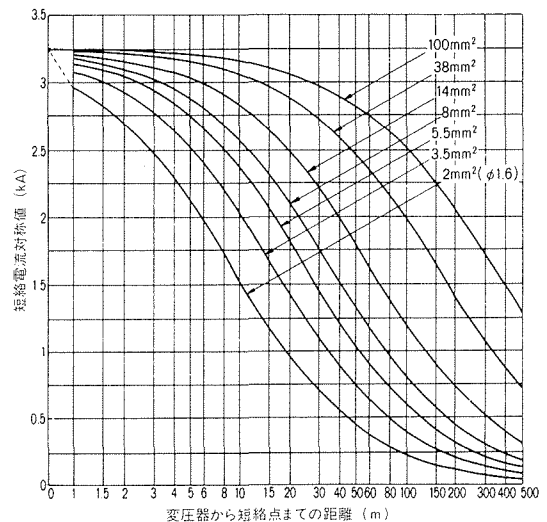


- 100mm²、5mでは29kA ……①
- 1500Aバスダクト、8mでは35.5kA ……②
- ①、②のうち小さい方の値29kAがS点の推定短絡電流です。

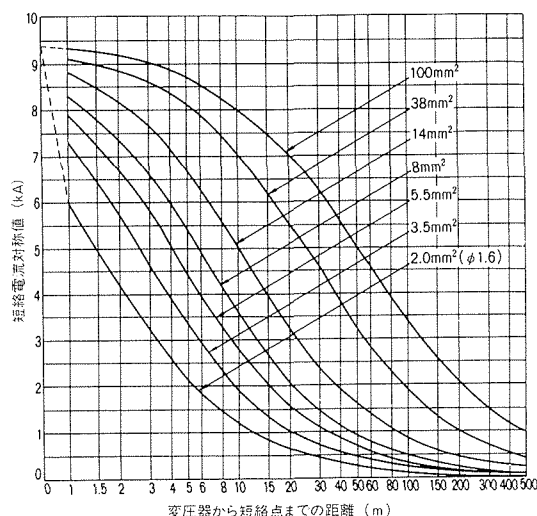
付図2 三相変圧器容量50kVA、二次電圧200V



付図3 三相変圧器容量50kVA、二次電圧415V



付図4 三相変圧器容量75kVA、二次電圧200V



付図5 三相変圧器容量75kVA、二次電圧415V

